



Atsugi City Board of Education  
厚木市  
教育委員会だより

ATSUGI CITY  
第9号  
MAY.5.2020

# Edu Navi

エデュ ナビ

Education is a Navigation  
for the Future

**小学校で全面实施  
新学習指導要領**  
文部科学省が定める教育カリキュラムの編成基準。道徳教育の充実や英語教育の拡大など、約10年ぶりに改訂されました。中学校は、来年度から全面实施され、プログラミング教育がより拡充されます。

## プログラミング教育がスタート

学校での情報機器の活用を補助する「ICT支援員」(写真中央)が授業をサポート

**ミッション**

あゆコロちゃんをプログラミングで動かそう

## 正三角形を描く

**命令①** スタートポイントに筆を置く

**命令②** 50歩(右へ)動かす

**命令③** 120度右に回る  
(60度ではないことがポイント)

**命令④** 50歩動かす

**命令⑥** 50歩動かす

**命令⑤** 120度右に回る

**もっと効率的に!**

**命令①** スタートポイントに筆を置く

**命令②** 「50歩動かす」「120度右に回る」を3回繰り返す

**正三角形の特徴**

- ・辺は3本で、長さは全て同じ
- ・角は3つで、角度は全て60度

**昨年度に先行実施したプログラミングの授業に対する児童の感想**

- ▶ 順番をよく考えること、繰り返し考えること、考え方を工夫することが大切だと感じました。
- ▶ すごく頭を使いました。自分の家のパソコンでもできるということなので、やってみてみたいと思いました。
- ▶ キャラクターを思ったように動かせると、気持ち良かったです。

小学校学習指導要領の全面实施に伴い、今年度からプログラミング教育がスタートします。目的は、プログラマーを育てることではなく、論理的な思考力を養うこと。生活の中で、自分が意図することを実現したり課題を解決したりするために、どのような行動の組み合わせが必要かを考える力です。料理や計画的な学習、仕事の進め方など、ゴールから逆算して的確な手順を踏むプログラミング的思考は、さまざまな場面で求められます。

さらに、情報化が進む社会では、生活の至る所にあるコンピュータの仕組みを理解し、活用していく能力が欠かせません。子どもたちが生きる未来は、テクノロジーの進化により、一層激しく変化していきます。そんな社会に自ら向き合い、自分の人生を切り拓く力。その土台となる思考力を、プログラミング教育を通じて育んでいきます。

◎教育指導課 ☎2251-2660

いじめをしないことを宣言し、リボンを付けるオレンジリボン運動



劇団による演劇を通じた心の授業



教育委員会の取り組み

- ◆いじめ防止対策委員会で実効的な対策などを協議
- ◆校長・教頭を対象にした研修会
- ◆児童・生徒指導担当者会で積極的な認知と適切な初期対応などへの理解を促進
- ◆学校教育指導員による学校訪問
- ◆児童・生徒の問題行動などの定期的な調査
- ◆スクールロイヤー（弁護士資格を持つ教育法務担当の職員）による学校訪問・研修会

中学生が小学生にネット利用の注意点を教える寸劇の披露



各クラスでいじめゼロ行動宣言の作成、発表、振り返り



友達がしてくれてうれしかった行動を貼り、優しい心を育む取り組み



思いやりや命の大切さを考える道徳の授業



人権作文の作成と、校内放送や集会での朗読



いじめ STOP 学校での取り組み

学校では、子どもたちがいじめや思いやりなどについて考えてもらう授業や取り組みを実施しています。子どもたちも、児童会や生徒会、各委員会が中心となり、主体的にいじめのない学校づくりをしています。

その他の取り組み

- 児童・生徒を対象とした、いじめの被害や目撃についてのアンケート
- いじめを考えるワークショップ
- 情報モラル教室、非行防止教室
- 人権に関する絵本の読み聞かせ
- 人権週間の講演会
- 人権集会、人権合唱
- 教職員が「いじめ反対」を表すシャツを着る「ピンクシャツデー」

大人の自覚がいじめを防ぐ

子どもは、成長のスピードや適性がそれぞれ異なるため、他の子どもと比べてできないこともあります。いじめの原因の一つですが、保護者や教職員が子どものありのままの姿を受け入れ、寄り添いながら育む姿勢を持つことで、子どもは「見守ってもらっている」という安心感を抱けます。



厚木市いじめ防止対策委員会 委員長 梶山 光男さん

しかし、現実にはその姿勢が欠けていることが多く、「もっと努力を」「負けないで」などの言葉が子どもを追い詰めています。奮起を促された子どもは、いじめの被害を言い出しづらくなる一方、加害者は表面化しないのいことに、さらにいじめを繰り返します。大切なのは、周りの大人が日頃から子どもと、人と人との関係を築き、苦しい時に相談したいと思える存在になることです。

人間社会には、強者が弱者を排斥する側面があります。その中でいじめを防ぐには、教育の果たす役割はとても大きいと思います。「人の嫌がることはしない」という感覚を家庭、地域、学校で共に養い、「決して加害者にはならない」という気持ちをみんなで膨らませていければ、いじめは防げると思います。

イチオシ政策

PICK UP 1 第2次教育振興基本計画 策定事業

令和3年度からスタートする第2次教育振興基本計画の策定を進めています。計画は、教育委員会が目指す教育のあるべき姿を掲げたもので、基本理念、基本目標、基本方針で構成されています。各市立小・中学校の教育目標なども計画の内容を踏まえて作成されます。今後は、意見交換会とパブリックコメントを実施し、市民の皆さんの意見を取り入れて令和2年度中に策定します。



昨年度は策定委員会方向性を議論

PICK UP 2 児童・生徒登下校等安全 推進事業

児童・生徒が安心して登下校できるよう、5校の通学路8カ所に児童通学隊員を配置。交通量の多い交差点や見通しの悪い道路などを見守っています。また、新入学児童と希望する生徒に防犯ブザーを配布しているほか、ドライバーに通学路の存在を知らせ、登下校する子どもへの注意を促す看板を設置するなど、児童・生徒の安全確保に努めています。



ひもを引くと音が鳴る防犯ブザー

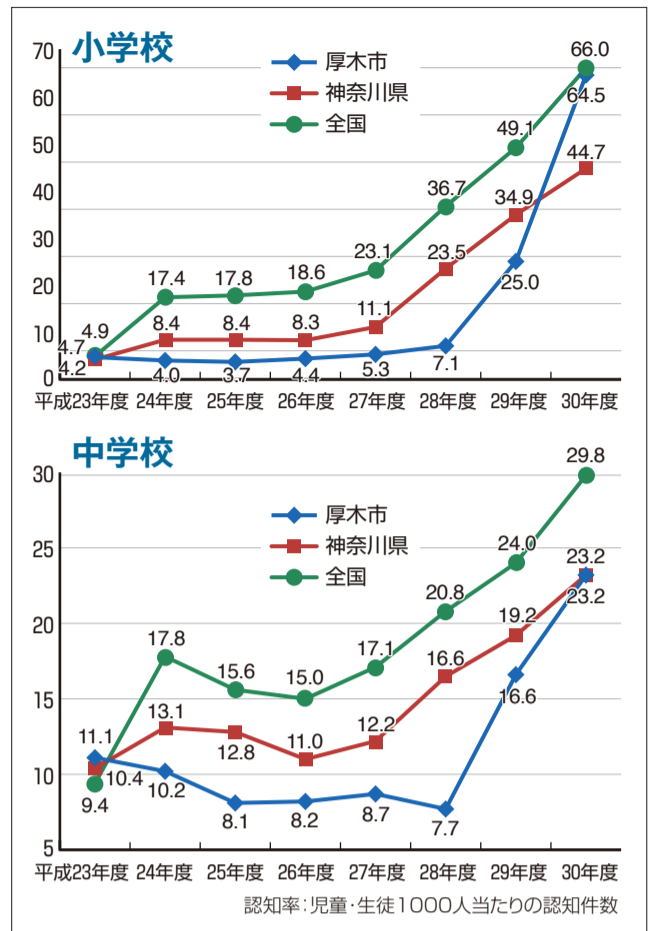
PICK UP 3 市史編さん事業

市の歴史的文脈を後世に継承するため、歴史資料の調査、収集、分類、整理に取り組んでいます。これまでに「厚木市史」の本編を13巻、「厚木市史資料叢書」は12巻、「厚木市史たより」(市HP掲載)は第22号まで発行。編さんした内容に基づき、歴史講演会も開催しています。古い資料や写真を集めていますので、お持ちの方は文化財保護課へご連絡ください。



13巻まで発行された厚木市史

いじめ認知率の推移



一定の人的関係のある児童・生徒が行う心理的または物理的な影響を与える行為で、行為を受けた児童・生徒が心身の苦痛を感じているもの

いじめの構造



いじめは、目に見えるものばかりでなく、発生件数を正確に数えることは困難です。そのため、数え方は「発生件数」から「認知件数」になり、認知の基準も子どもの受け止め方を重視した捉え方に変わりました。学校は、初期段階から把握して組織的に対処し、適切な指導につなげるよう努めています。

いじめを根絶するために

- いじめをなくすためには、加害者への適切な指導はもちろん、「観衆」や「傍観者」になっている子どもにも、いじめについて主体的に考え、行動する力を身に付けさせることが大切です。小・中学校では、いじめ防止の基本的な考え方や具体的な取り組み、対策組織などを示した方針を学校ごとに策定。子どもたちへのいじめ防止教室やワークショップ、アンケート、教職員向けの研修などに取り組んでいます。
- 〔右欄参照〕に基づき、施策を展開しています。子どもたちが安心して学校生活を送れるよう、未然防止や早期発見、適切な対応など、学校を支援する取り組みをしっかりと進めています。

いじめ防止基本方針のポイント

- 基本認識
  - ・いじめを受けたり子どもをいじめたりする行為は絶対に許されない人権侵害行為
  - ・どの子どもにも、どの学校でも起こり得る
- 基本理念
  - ・市民は、いじめをしない・させない・見逃さない
  - ・大人は、いじめに対して適切な対処をする
- 未然防止、早期発見、適切な対処について規定
  - ・家庭・地域社会で大切にしたい意識や取り組み
  - ・学校の取り組み、考え方
- 市長と教育委員会の基本的な施策を規定
- 重大事態への対処方法を規定

みんな違ってみんないい あたかいい心を持つ 誰にでも同じ態度をとる 仲間を信じる 暴力をふるわない 感謝の気持ちには言葉に表す いざとなったら止まれ！いじめの信号機 笑顔を作るような行動を 困っている人には自分から声をかける 一人で抱え込まない 認め合い助け合う 君の口は悪口を言ったためにあるものじゃない 言葉はときに凶器となる

いじめは、受けた子どもの心に深い傷を残し、時として命をも脅かす決して許されない行為です。しかし、いじめで苦しむ人々や痛ましい事件は、後を絶ちません。この重大な問題に社会全体で取り組むため、国は2013年にいじめ防止対策推進法を制定。法の成立を受け、市では2014年にいじめ防止基本方針を策定しました。今回の特集では、現在のいじめの状況や、いじめ撲滅に向けた学校と教育委員会の取り組みを紹介します。

いじめは、目に見えるものばかりでなく、発生件数を正確に数えることは困難です。そのため、数え方は「発生件数」から「認知件数」になり、認知の基準も子どもの受け止め方を重視した捉え方に変わりました。学校は、初期段階から把握して組織的に対処し、適切な指導につなげるよう努めています。

いじめは、身体への暴力によって苦痛を与える以外にも、仲間はずれや無視、相手が嫌がることをしたりさせたりして、心理的にダメージを与えるものがあります。現在では、インターネット上でのいじめや、中心となる加害者がはっきりしない複数によるいじめが増加。加害者たちに罪の意識が薄く、実態が分かりにくいという傾向があります。

さらに、あらゆる子どもが当事者になり得ることも近年の特徴の一つです。国立教育政策研究所の調査では、小・中学校の9年間で仲間はずれ、無視、陰口のいずれかをした子どもも、された経験のある子どもも、いずれも9割に上ります。いじめは積極的に加担していかなくても、面白がって見ていたり、はやし立てたりする「傍観者」も無関係ではありません。

いじめをなくすためには、加害者への適切な指導はもちろん、「観衆」や「傍観者」になっている子どもにも、いじめについて主体的に考え、行動する力を身に付けさせることが大切です。小・中学校では、いじめ防止の基本的な考え方や具体的な取り組み、対策組織などを示した方針を学校ごとに策定。子どもたちへのいじめ防止教室やワークショップ、アンケート、教職員向けの研修などに取り組んでいます。

〔右欄参照〕に基づき、施策を展開しています。子どもたちが安心して学校生活を送れるよう、未然防止や早期発見、適切な対応など、学校を支援する取り組みをしっかりと進めています。

いじめは、目に見えるものばかりでなく、発生件数を正確に数えることは困難です。そのため、数え方は「発生件数」から「認知件数」になり、認知の基準も子どもの受け止め方を重視した捉え方に変わりました。学校は、初期段階から把握して組織的に対処し、適切な指導につなげるよう努めています。

いじめは、身体への暴力によって苦痛を与える以外にも、仲間はずれや無視、相手が嫌がることをしたりさせたりして、心理的にダメージを与えるものがあります。現在では、インターネット上でのいじめや、中心となる加害者がはっきりしない複数によるいじめが増加。加害者たちに罪の意識が薄く、実態が分かりにくいという傾向があります。

さらに、あらゆる子どもが当事者になり得ることも近年の特徴の一つです。国立教育政策研究所の調査では、小・中学校の9年間で仲間はずれ、無視、陰口のいずれかをした子どもも、された経験のある子どもも、いずれも9割に上ります。いじめは積極的に加担していかなくても、面白がって見ていたり、はやし立てたりする「傍観者」も無関係ではありません。

みらいの種



小学校に設置した自学自習室を視察

教育長コラム 直野田 高治

各学校で実施されているいじめ防止宣言やクラスの約束、学級目標などで掲げられた、いじめに対する児童・生徒の決意の言葉です。

新型コロナウイルスの感染拡大が、社会に大きな混乱を引き起こしています。2月末に安倍晋三首相から学校の一斉休校が要請され、市立小・中学校では、子どもの預け先の確保など準備期間を2日間置いて3月4日から休校となりました。卒業式も縮小開催となりました。大切な節目の日を楽しみにされていた児童のお気持ちを考えると、本当に苦渋の決断でした。たくさんの意見を頂戴しましたが、厚木保健福祉事務所管内（厚木地区）で感染者が確認され、感染の拡大状況が不明であったため、皆様の健康と安全を最大限に考慮して判断しました。

長引く休校や外出自粛による子どもたちのストレスや運動不足が心配される中、4月からの授業再開に向け準備を進めてきました。しかし、緊急事態宣言により入学式も縮小開催し、未履修部分の補い方や授業時数の確保、学校での手指の消毒、マスク着用といった感染防止対策の徹底など、対応すべし課題はたくさんありますが、子どもたちの安全を第一に、万全の対策を講じてまいります。



# 子どもたちを物語の旅へいざなう

## 厚木おはなし会代表 **高橋充代** さん(67・温水)

**今** 年度から厚木おはなし会の代表となりました。会は、中央図書館で土・日曜に行っている素話や、ブックスタート事業へのスタッフとしての参加、月1回の勉強会などをしているボランティア団体です。素話とは、絵本や紙芝居を持たずに、相手の目を見て物語を話して聞かせることで、小学校や児童館などでも「おはなし会」をしています。

会は、現在の図書館の開館と同じ昭和59年に主婦たちによって設立されました。当時、自主保育グループに参加していた私は、読み聞かせの仕方を学ぶために図書館主催の講習会に参加し、素話と出合いました。聞く人を物語の世界に引き込む素話にすっかり魅了されたことを覚えています。同じ講座に参加していた発起人の木村美紀子さんに誘われ、会の立ち上げから参加しました。

素話は、何も持たずに話すので、内容は全て頭に入っていないと聞きません。私が話せるのは20話ほどですが、中には100話くらい話せる方もいます。人前できちんと話ができるようになるには、3年くらいかかると思います。話す時は、気持ちが高ぶらせず淡々と語ることを心掛けています。感情を入れ過ぎると、お芝居のようになってしまい、

「一時期活動を離れても温かく迎えてくれる仲間がいる」と話す高橋さん。現在は15人で活動中

## ブックスタート

楽しい時間を過ごしながら、乳幼児の言葉と心を育むために、読み聞かせの方法を案内するとともに、絵本をプレゼントします。



生後4カ月頃から最適

**【対象】**  
2019年4月2日以降に生まれた赤ちゃんとその保護者(赤ちゃん1人につき1回)  
**【日時・場所・申し込み】**  
広報あつぎ(15日号)に掲載

中央図書館 ☎225-2570



ブックスタートで絵本を読む会員

聞いていない子どもたちは話し手に注目してしまふからです。

話す前には、「耳と目と心を向けて聞いてください」と伝えます。集中している子どもたちの目は真剣そのもの。まるで物語の中を一緒に旅しているような感覚になります。話が終わった時、息をのんで聞いている子どもたちが一斉に「フーッ」と息をついている様子を見ると、「やった」と手応えを感じますね。

最近では、映像に早くから触れる子どもが多いと思いますが、最も子どもの心に響くのは、生の声での語り掛けです。多くの「おはなし」を聞いた子どもは、集中力や想像力、共感力、傾聴力が高まります。たくさん読み聞かせをした親子は、子どもが成長しても良い関係を築けるように感じます。親御さんは、お子さんが幼い時こそ、絵本などを使っていっばい心を通わせてほしいと思います。

## おうちで給食レシピ

### 栄養たっぷりの春の味覚 茎ワカメのきんぴら



今回は、春に旬を迎える茎ワカメを使ったレシピ。ミネラルや食物繊維が豊富で、コリコリとした食感が楽しい一品です。

#### 材料(4人分)

- ・さつま揚げ…50g ・豚もも肉…80g ・ニンジン…50g
- ・茎ワカメ(カット)…40g(乾燥茎ワカメは水で戻してから計量)
- ・つきこんにやく…120g ・サラダ油…適宜 ・砂糖…大さじ1 ・しょうゆ…小さじ2 ・酒…小さじ1

#### 作り方

- ①ニンジンは千切り、さつま揚げは薄切りにする。茎ワカメはさつと洗い、つきこんにやくは下ゆでしておく。豚肉は細切りにする。
- ②フライパンにサラダ油を入れ、つきこんにやくを炒めた後、豚肉を加えて炒め、色が変わったらニンジンも炒める。
- ③具材に火が通ったら、調味料の砂糖、しょうゆ、酒を加える。その後、さつま揚げ、茎ワカメを加えて炒め、味をなじませる。

#### ひと口メモ

きんぴらとは、細切りにした食材をしょうゆや砂糖などで甘辛く炒めた料理。ゴボウやレンコンなどの根菜の他にも、アスパラガスやズッキーニなどのきんぴらもおいしいですよ。

人気の給食レシピを市ホームページで紹介

厚木市 給食レシピ [検索](#)

## 数字で見るあつぎの教育

Q これって何の数字?

# 94.2%

A 青少年教育相談を通して、好ましい変化が見られた割合です(改善率)。

(平成30年度)

相談は、子どもたちや保護者の心の問題を解決するために、青少年教育相談センターが実施しています。平成30年度の相談件数は延べ10,728件。内容は、不登校や友人関係、SNSでのトラブル、家庭の問題など、多岐にわたります。

相談を受けるのは、専門家である青少年心理相談員です。まずは、相談者の悩みの傾聴に努め、抱えている生きづらさへの共感を深めます。この「傾聴」と「共感」の中で生まれてくる信頼関係を大切に、相談は進められます。相談員は、一方的な助言に終始せず、一緒に悩み、考えることで、相談者が自



相談室

分の痛みや問題に「気付く力」「認める力」「受け入れる力」「持ちこたえられる力」「付き合い続ける力」を身に付けられるよう支援します。

学校の長い休み明けは、特に相談が増える時期です。悩みを一人で抱え込まず、ご相談ください。

- 【相談方法】** 来所・訪問(要予約)、電話、メール
- 【時間】** 平日9時~17時(火曜は20時まで)
- 【場所】** 市役所第二庁舎6階(中町3-16-1)
- 【電話】** 221-8080(受付時間外は留守番電話へ)
- 【メール相談】** 市HPの入力フォームより

## info インフォ

### 親子のための 耳より!

#### 家庭学習の学びを深めるために

新型コロナウイルス感染症が広がり、子どもが自宅にいる時間が増えています。運動不足や生活リズムの乱れ、学習の遅れなど、不安を感じている方も多いのではないのでしょうか。ここでは、家庭学習に効果的に取り組むコツを紹介します。

学校で学んだことを定着させたり、これから習うことを事前に調べたりする家庭学習。学校が休校中でなくても重要ですが、今、学習の在り方や方法がよりクローズアップされています。

#### 【具体的な悩み】

- ◆気が散って学習に集中できない
- ◆自発的に取り組まない
- ◆学習する時間・量が少ない



#### ■スケジュールを立てる

起床、食事、就寝などの時間を決め、空いた時間に「学習」「運動」「自由時間」をどう割り当てるか子どもと一緒に考えましょう。

#### 【ポイント】

- ◆おしゃれなスケジュール表を用意
- ◆こなせる範囲でその日の課題を設定(目標とゴールを決め見通しを持たせる)
- ◆学習は、時間を区切ってアラームをセットするなど、メリハリをつける
- ◆自由時間はたっぷり
- ◆課題を達成したら、たくさん褒める

#### ■オンライン教材を活用する

文部科学省のHPでは、問題集や動画など、無料で利用できるさまざまな学習支援コンテンツが紹介されています。



文部科学省 子供の学び [検索](#)

学校、家庭、子どもの発達…一人で悩まないで! **子どもの相談は ☎ 221-8080** (青少年教育相談センター)  
平日9時~17時(火曜は20時)。それ以外の時間と土・日曜、祝日は留守番電話をご利用ください。ネットいじめ・ヤングテレホン☎223-6693でも承ります。